

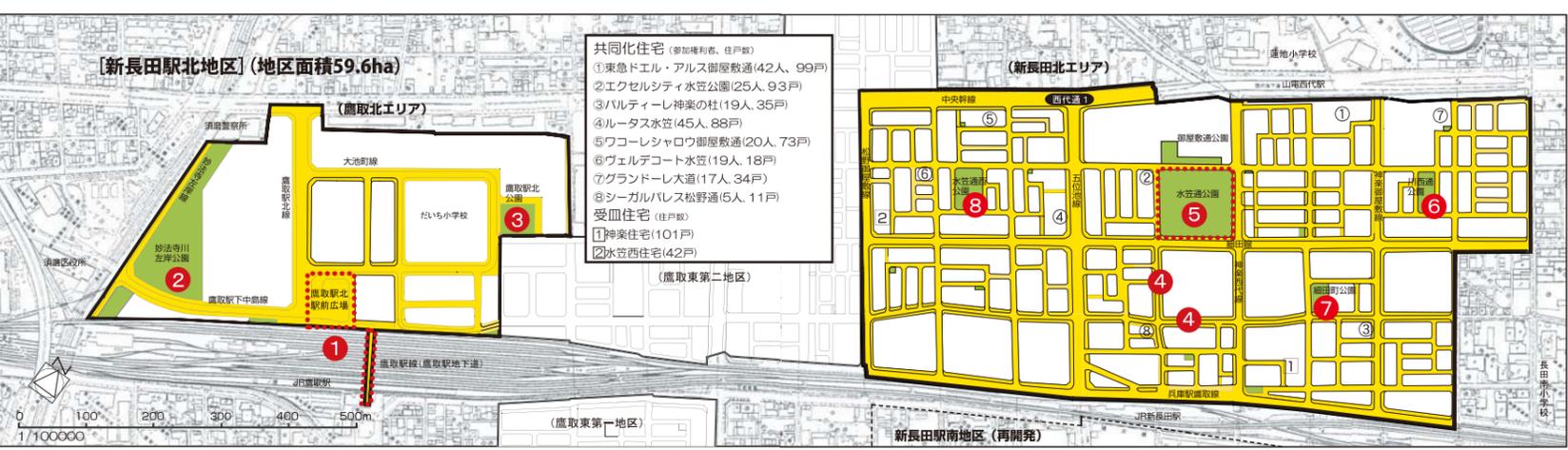
整備されたまち

新長田駅北地区

■地域の声
 土地や建物の権利関係が複雑で、区画整理でないまちは収まらない状況でした。当初、住民は区画整理の意味も知りませんでした。ただ、良いまちを作りたいという気持ちは大変強いものでした。住商工の棲み分けを提案したり、市と景観形成市民協定(いえなみ基準)を結んだりしました。また、地区には31カ国、約8,600人の外国人が生活していたことから、外国人との共生も考える必要がありました。
 鷹取北エリアは、JR鷹取駅の北に位置し、同鷹取工場の転出に併せて復興住宅の建設や防災拠点の整備が進められています。

1 鷹取駅地下道・北駅前広場
 鷹取駅地下道は、地元住民からの提案に基づき、床面には地上と同位置に線路やプラットホームを、壁面には電車の通る位置にトンネルの形をデザインしています。通路中央部分では、床面は運転台をデザインし、壁面には鷹取工場航空写真と同工場で製造されたD51等の写真を焼き付けた陶版を設置しています。
 北駅前広場では、歩道部分にシンボルとして、D51の前面と側面とを煉瓦ブロックを使いほぼ実寸大で再現したほか、線路や車輪等鉄道をデザインしています。

2 3 妙法寺川左岸公園・鷹取駅北公園
 鷹取駅北エリアでは、近隣公園として、妙法寺川左岸公園を計画し、平常時は地域住民の憩える場として利用し、非常時には近接する公園等と併せ防災総合拠点となるように整備されています。
 また、街区公園として、鷹取駅北公園が整備されています。



4 せせらぎ
 新長田駅北地区の「せせらぎ」は、水笠通公園からコミュニティ道路へと約500mを流れ、まちに潤いを与えるとともに、まちのシンボルとして親しまれ、憩いの場にもなっています。清掃活動等の日常管理は地元住民が行っており、地域コミュニティの醸成にも一役をかっています。
 地域では、まちづくり協議会が中心となって、日常管理にとどまらず、公園やせせらぎを舞台とした、お祭りや緑化活動などにも取り組んでいます。その中で、せせらぎは、お祭りのドジョウすくいやさうめん流しの場として、活躍しています。



5 水笠通公園
 水笠通2丁目全域にわたる1haの防災公園で、まちづくり協議会において検討された構想計画をもとに整備されました。具体的な整備計画案については、地元住民によるワークショップにより決められました。
 水笠通公園予定地は、最終の整備が行われるまでは、「いつとき公園」として地元住民により花壇など作られ、憩いの場となりました。
 そして、震災復興の記録をのこし、未来への遺産とし、多くの人々の協力で復興を成しえたことを伝えるための「新長田駅北地区 震災復興の碑」と、この公園整備のため、近隣へ移転等により再建した水笠通二丁目の住民の記憶を後世に伝えるための「水笠通二丁目の碑」が建てられています。また、耐震性防火水槽も設置されています。



6 7 8 川西通・細田町・水笠通西公園
 地域の住民が、気軽に楽しく遊び、憩える場所として、街区公園が整備されています。また、耐震性防火水槽も設置されています。



4 靴型やサインの入ったタイル
 靴のまち長田の活性化方策として、「神戸ゆかりの有名な靴型サイン」の敷設がまちづくり協議会から提案され、コミュニティ道路歩道に敷設されています。

